



東京ミッドタウン・デザインハブ
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub
5th floor, Midtown Tower,
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776
Fax 03-6743-3775
<http://www.DesignHub.jp>
info@designhub.jp

2012年7月23日

公益財団法人日本デザイン振興会

東京ミッドタウン・デザインハブ第35回企画展 「わたしたちのロングライフデザイン」展 開催

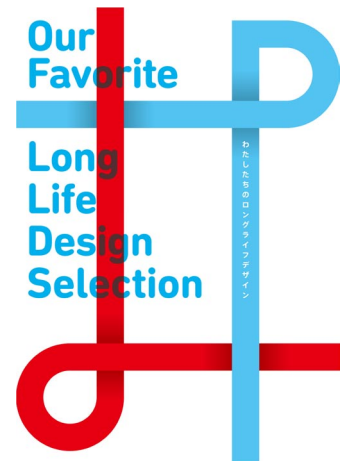
東京ミッドタウン・デザインハブ（構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、社団法人日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ）では、8月17日から9月26日まで、「わたしたちのロングライフデザイン」展を開催します。これは、日本を代表するデザイン運動であるグッドデザイン賞の特別賞「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」（以下、ロングライフデザイン賞）をテーマに、人々から長い年月にわたって愛され、支持されているデザインや、変わらない魅力を発揮し続けるデザインを紹介するものです。

会場では、これまでのロングライフデザイン賞の受賞作の中から約20点を紹介。それらの受賞作を手がけたデザイナーやメーカー関係者のインタビュー映像なども上映します。さらに、今年の10月1日に発表される最新のロングライフデザイン賞候補作を初めて一般公開します。来場者はこれらの候補作にその場で支持のコメントを書き込むことができ、コメントはこのあとに実施される審査にも反映される予定です（コメントの書き込みは8月31日まで）。展示を見るだけでなく、新しいロングライフデザイン賞が決定するプロセスへの参加性にもご注目ください。

東京ミッドタウン・デザインハブ 第35回企画展

「わたしたちのロングライフデザイン」展

会期 8月17日（金）～9月26日（水）11:00～19:00
休館日 9月10日（月）
会場 東京ミッドタウン・デザインハブ
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F
入場料 無料
主催 東京ミッドタウン・デザインハブ
企画・運営 公益財団法人日本デザイン振興会
会場デザイン・アートディレクション MOMENT



東京ミッドタウン・デザインハブ <http://www.designhub.jp/>

※ ビジュアルの用意がございます。下記、報道関係のお問い合わせ先までご連絡ください。

一般からのお問い合わせ先：公益財団法人日本デザイン振興会 デザインハブ担当
電話 03-6743-3776 E-mail info@designhub.jp URL <http://www.designhub.jp/>

報道関係のお問い合わせ先：株式会社オズマピーアール
電話 03-3403-0282 FAX 03-3403-0280 担当：近江（オウミ）、木村、鈴木

出展予定作品 ※出展内容は変更になる場合があります。

1. 「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」歴代受賞商品

「日本から世界へ広がるロングライフデザイン」

醤油注（白山陶器株式会社）

蚊取線香 [金鳥の渦巻]（大日本除虫菊株式会社）

スーパーカブ [ホンダ スーパーカブ]（本田技研工業株式会社）

インスタント麺 [カップヌードル]（日清食品株式会社）

カメラ [RICOH GR シリーズ]（株式会社リコー）

エフェクター [BOSS コンパクト・エフェクター・シリーズ]（ボス株式会社）

「産業を支えるロングライフデザイン」

生物顕微鏡 [エクリプス E200]（株式会社ニコン）

ドライバー [アネックスドライバー No.6000 No.6300 シリーズ]
（株式会社兼古製作所）

測量機 [オートレベル AT-G6]（株式会社トプコン）

「質の高い公共性をもたらすロングライフデザイン」

仮囲い [アドフラット]（日本セイフティー株式会社）※パネル展示

ファイル [ドッチパイプファイル]（株式会社キングジム）

乗用車 [クラウンコンフォート]（トヨタ自動車株式会社）※パネル展示

強化ガラス・スタックタンブラー（東洋佐々木ガラス株式会社）

スタッキングチェア [テクス（デイライト）]（愛知株式会社）



（上から）醤油注、ホンダ スーパーカブ、RICOH GR シリーズ、エクリプス E200、クラウンコンフォート

2. 2012 年度「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」候補作品

※会場にて発表。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞とは

1980 年に行われたグッドデザイン賞制度改革の一環として誕生しました。その発端には、商品のモデルサイクルが短い傾向のある日本において「ものをできるだけ長く使おう」「ものの寿命を長くするデザインを

創っていこう」というメッセージが込められています。以来、長い期間にわたり生産され、市場で高い支持を得ている数多くの商品がこの賞に選ばれてきました。近年では、社会全体がサステナビリティ（持続可能な成長）を重視するようになり、ロングライフデザイン賞の価値もますます高まっています。

